

中学校統合について問う

中学校統合の目標 平成25年4月



後迫 哲矢 議員

町長は本年度第一回定例議会において、平成25年に町内3中学校を統合するように施政方針で示めされた。そのことは本町の学校の在り方検討委員会の答申に基づいて、明確に示されたものと理解している。現今の社会事象は、人と人との絆、人と社会の絆、人と自治体との絆にとっても、絆が無縁になった現象として、大きな社会問題化している。大崎町を形成する現況を見る時、町の地形や人

の住んでいる現況を考えると、3中学校の統合が本町の将来にとって良いことなのかどうか、総合的に町づくりを考える必要があるのではないか。町長は方針どおり平成25年4月に統合する考えに変更はないか。

平成25年4月統合に変更はない

町長

平成20年10月に大崎町立学校の在り方検討委員会から答申があった中学校については、早い段階で町内一中学校に統合するよう進めることが望ましいとの答申であり、現時点では平成25年4月に統合する目標に変更の考え

はない。

菱田・野方地区の説明会の状況は

後迫議員

説明会を開催された地区の参加者の意見や問題点、検討事項はどうかであったか。

説明会は大崎第一中だけ開催

町長

第一中学校区だけは、生徒の保護者全校区住民対象の意見交換会を2回開催した。菱田中学校区については口蹄疫発生で会を延期した。第一中学校区の参加者は2回で65名であった。その中での主な意見は、◎母校がなくなると寂し

くなる。◎人口減少と地区のシンボル(中学校)がなくなると活気が失われる。◎現時点での統合は時期尚早である。◎跡地、施設等の利用に不安等様々な意見があった。

統合をよしとする町長の考えは

後迫議員

3中学校の統合をよしとされる町長の考えはどうか。

子どもの自己形成の場、友達と切磋琢磨する環境の整った学校が望ましい

町長

現在の3中学校の教育環境や部活動が子ども達が望んでいる状況なのか、適切な教育環境であるかを考える時、子どもの自己形成の場としては、3中学校の統合が望ましいと考える。

菱田中、大崎第一中の跡地施設の計画は

後迫議員

両中学校跡地施設の利用構想(計画)はあるのか。

具体的計画はない

町長

現在、具体的計画はないが、両地区の活性化に貢献できる最良の活用方法を模索して多くの方々の知恵を活かし、地域の活力が生まれ、地域の活力が生まれ出されるよう懸命に努力する。

統合する学校の場所は

後迫議員

中学校の場所はどこにするのか。

大崎中学校を整備充実して

町長

新たな場所に中学校を建てることになると土地の取得、建物の建

築に要する経費が膨大になる。全てを整えるには長期間を要するので大崎中学校を考えている。

統合に要する予算は試算しているか

後迫議員

中学校を統合するには相当な予算が必要であり、その試算はしてあるか。

試算はしていないが、教育委員会で検討

町長

予算については、ケースバイケースというところもあって試算はしていないが、教育委員会で検討している。